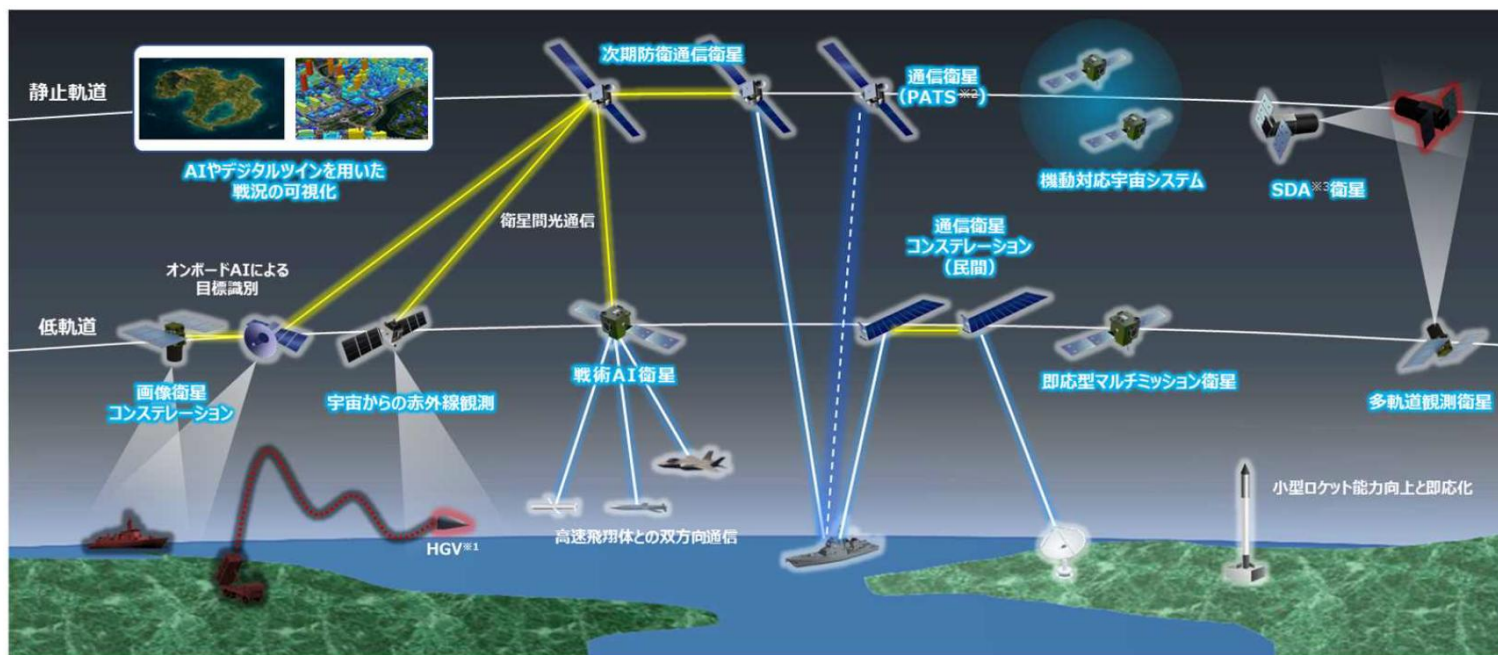


防衛省の令和9年度宇宙関係概算要求

令和8年9月
防衛省

防衛省の宇宙関係予算について

- 「**意思決定の優勢**」を確保する上で、宇宙からの戦況把握能力や通信能力の強化を図るとともに、宇宙の安定的利用を確保するため宇宙領域把握能力等を強化することが不可欠。
- また、自衛隊の活動に加え、**国民生活の基盤たる宇宙利用を確保するため、宇宙の安全保障の分野での対応能力を強化**することが必要。
- この観点から、「防衛力整備計画」に基づき**宇宙領域における能力強化を進めてきているところ**。
- 令和9年度概算要求においては、**衛星通信網の整備等に必要な経費を引き続き計上しつつ、三文書改訂に関する議論も踏まえる必要があることから、事項要求も実施**。



防衛省の宇宙関係予算について

1 宇宙領域把握（SDA）の強化

- **SDA衛星2号機の整備**【事項要求】
宇宙領域における脅威を早期に探知するため、電波の利用状況を把握可能なSDA衛星2号機の整備に着手
- **宇宙状況把握システムの機能向上**【契約ベース約99億円】
通常と異なる機動を行う宇宙物体の探知追尾機能を向上
- **衛星妨害状況把握装置の整備**【契約ベース約34億円、歳出ベース約0.6億】
我が国の人工衛星への電磁妨害状況を把握する装置を取得
- **機動対応宇宙システムの技術実証**【事項要求、歳出ベース約51億】
衛星の防護に必要な機動的な衛星運用の技術を実証



SDA衛星2号機
(生成AIによるイメージ)



衛星妨害状況把握装置

2 迅速かつ的確な戦況把握能力の強化

- **衛星用高精細赤外線検知器の研究**【事項要求】
宇宙空間から極超音速滑空兵器（HGV）等の探知及び追尾を行うための衛星搭載型の高精細な赤外線センサ技術を研究 ※HGV：Hypersonic Glide Vehicle
- **画像解析用データの取得**【事項要求、契約ベース約327億円、歳出ベース約304億円】
周辺地域の情報収集のため、高解像度を有する民間衛星等による画像を取得

防衛省の宇宙関係予算について

3 作戦の基盤となる衛星通信の確保

- **次期防衛通信衛星等（きらめき 1 号及び 2 号後継機）の整備**

【事項要求、契約ベース約 5 9 億円、歳出ベース約 1 0 億円】

- **次世代防衛技術実証衛星の実証** 【事項要求、歳出ベース約 1 5 億】

衛星搭載機器の高機能化に対応した熱制御技術や光通信等の次世代技術を実証

- **戦術 A I 衛星の研究** 【事項要求】

- **多国間で共用する衛星通信に対応した器材等の整備** 【事項要求、契約ベース約 1 5 2 億円、歳出ベース約 1 8 億円】

高い耐妨害性と耐傍受性を持つ通信が利用可能な、多国間の衛星通信帯域共有枠組み（P A T S）に接続する器材等を整備 ※ P A T S : Protected Anti-Jam Tactical SATCOM

- **商用低軌道衛星通信器材等の整備** 【契約ベース約 2 4 億円、歳出ベース約 2 2 億円】

水上艦艇において業務用通信を補完する商用低軌道衛星通信に必要な器材等を整備



次期防衛通信衛星（イメージ）



練習艦「かしま」への衛星通信
機材装備状況

4 宇宙領域における組織体制の強化

- **防衛装備庁に衛星開発室（仮称）を設置**